

宇都宮市ゆれやすさマップ

※震度と想定される被害状況

震度階級	人の体感・行動	屋内の状況	屋外の状況
震度7	揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。立っていることができず、はわないと動くことができない。	固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。補強されているブロック塀も破損するものがある。
震度6強		固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多い。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
震度6弱	立っていることが困難になる。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
震度5強	大半の人が、物につかまらないうちで歩くことが難しく、行動に支障を感じる。	棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが増える。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。
震度5弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまらなうと感じる。	電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。道路に被害が生じることがある。
震度4	ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。	電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。	電線が大きく揺れる。
震度3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の中には、揺れを感じる人もいる。眠っている人の大半が、目を覚ます。	棚にある食器類が音を立てることがある。	電線が少し揺れる。

「気象庁震度階級関連解説表」より抜粋

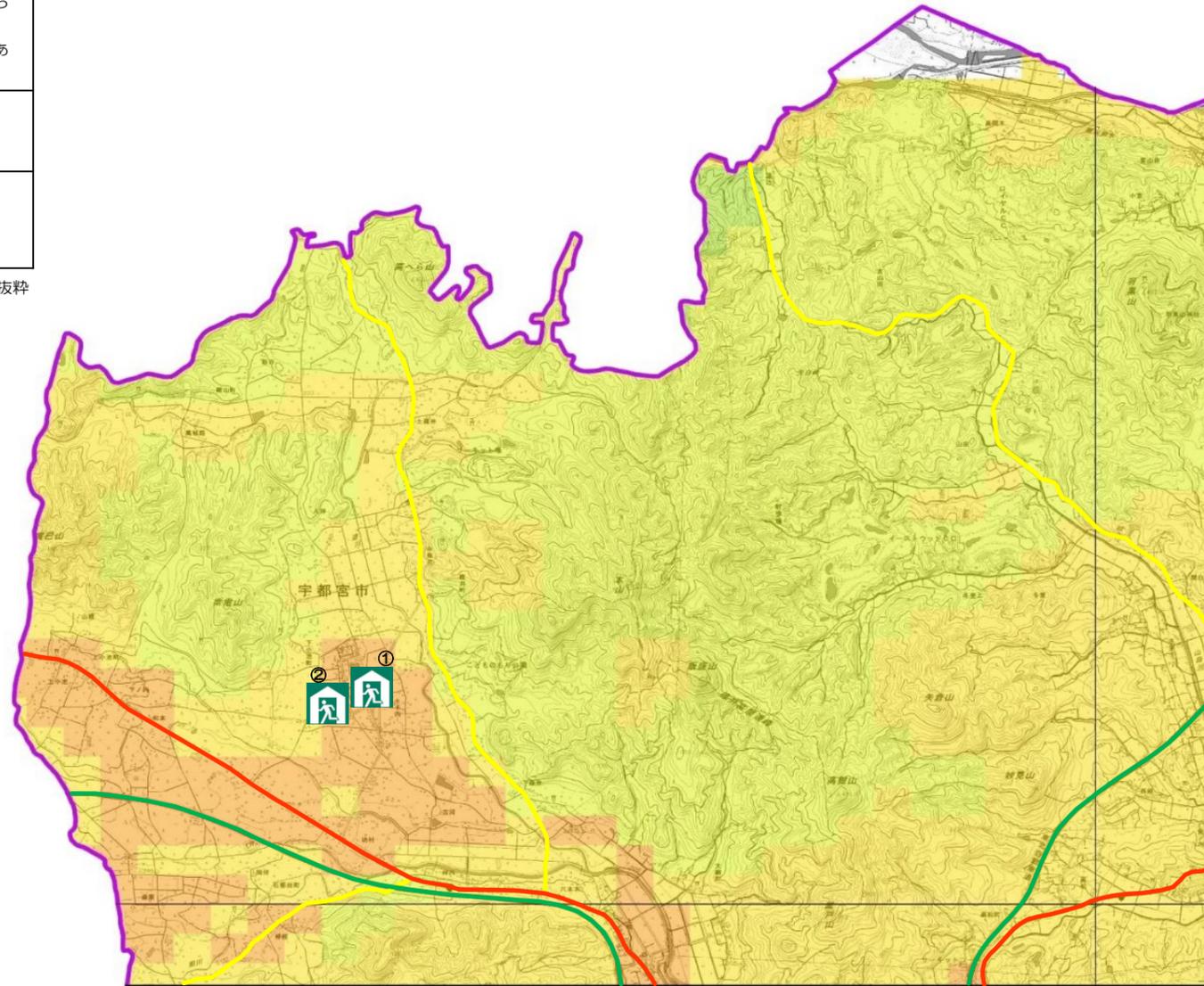
ゆれやすさマップとは

ゆれやすさマップとは、想定した地震が発生した場合に予測される震度をゆれやすさとしてわかりやすく表示したものです。このゆれは、「市直下型地震」を想定したものです。



避難所・一時避難場所一覧

① 篠井小学校	下小池町569-37
② 篠井地区市民センター	下小池町466-1



凡例

震度階級

	7
	6強
	6弱
	5強
	5弱
	4
	3

凡例

	避難所
	一時避難場所（地震）
	高速道路・有料道路
	国道
	県道

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。
(承認番号 平27情複、第580号)

